

平成26年度 新潟市生活部 活動報告

部長 福原 勝子(新潟市立漆山小学校)

1 研究主題

一人一人が学びを実感する生活科授業
～価値ある体験・交流・表現活動を通して～

2 研究の概要

自ら課題意識をもったり、自分で考えて行動したりすることを苦手とする傾向が強くなってきた子どもたち。教師も、いかに教えるかに関心が向きがちになり、いかに考えさせるか、いかに豊かな体験をさせるか、というような子どもの思いを大切にしていこうとおろそかにしがちな面が生じている。

そこで、研究主題を「一人一人が学びを実感する生活科授業」とし、一人一人の学びに焦点を当て、価値ある体験・交流・表現活動を工夫した生活科授業を目指すことにした。研修の概要は以下の通りである。

- 具体的な「価値ある体験・交流・表現」について、部員の実践を持ち寄り意見交流を行い、各校の今後の実践に役立てる。
- 「一人一人が学びを実感する生活科授業」を構想するとき大切なことについて、講演を通して理解を深める。
- 授業研究によって、「学びを実感した姿」を具体的に捉え、手立てについて検証する。

3 事業の実際

- 5月 今年度の研修計画づくり
- 6月 今年度の研修・年間活動計画の確認。各校の今年度の活動予定の交流。
- 7月 「実習 アグリパーク 野菜オリエンテーリング」悪天候のため中止
- 8月 講演 「子どもが学びを豊かに・確かにする生活科のために」
講師 富山大学 松本 謙一 教授
- 9月 研究授業案全体検討会
- 11月 研究授業
＜Aブロック＞ 第2学年「作ってあそぼう ～それいけ！ゴムカー発明隊～」
授業者 上所小学校 菊池 沙耶歌 教諭
指導者 新潟市総合教育センター 青木 博子 指導主事
＜Bブロック＞ 第1学年「ヤギさんといっしょ
～ましろちゃんともっとなかよくなる～」
授業者 白根小学校 高橋 歩 教諭
指導者 新潟市立女池小学校 山際 貴子 校長
- 12月 実習 「アグリパーク見学・ピザ作り実習」
- 1月 今年度研修の振り返り。各校の実践交流。
「生活科総合全国大会」新潟大会基調講演紹介。
- 2月 今年度の研修の反省と来年度の研修計画づくり

4 成果と課題

(1) 成果

- 「一人一人に学びを実感させる生活科授業」に欠かせない「子ども理解」について、講演や基調提案紹介によって理解を深めることができた。
- 「学びを実感した具体的な姿」や、その実現のための手立てについて、授業の実際から共通理解することができた。
- 各校の情報交換により、すぐに役立てることができる情報を部員が入手することができた。

(2) 課題

- 「体験・表現・交流」がスパイラルのように連続し、気付きが高まっていく仮説を明確にし、そのための手立てをより多くの実践から集積していく。
- 生活科の原点とも言える「子ども理解」について、具体的な実践に基づき実感を伴って理解できるような講演や実践紹介の場をより多くもちたい。

